

第10回MBI(マルチメディアを基礎にした教育)発表会

情報教育研究センター

日 時：平成20年2月15日(金) 13:10～16:30 予定

場 所：207講義室

司 会：石井 文由・和田 義親

一演題20分 発表時間15分 質疑5分

登壇者

※ 13:10～13:20

開会の辞 岸野 吏志

1. 13:20～13:40

テーマ：情報処理演習の授業評価'07

和田 義親(薬学教育研究センター)

要 旨：平成18年度新入生の教科「情報」履修者は代替科目を含めても43%であったが、平成19年度新入生の履修者は78%となった。H18年度の情報処理演習はITリテラシーに大きな差があることを念頭に置いて基本課題と発展課題をウェブページに用意し、オンデマンドサポートしながら学生自身のペースで学習させ、一定の成果が得られた。平成19年度も同様な方法で実施したので学生状況と学習状況を比較して授業評価をする。

2. 13:40～14:00

テーマ：出席カードを利用した講義質問回答のネット配信の試み

石橋 賢一(病態生理学教室)

要 旨：2年生の病態生理学の講義において、出席カードに講義の質問を記入してもらい、よい質問には定期試験に1点加算する。回答は講義終了後すみやかにホームページに公開し、よい質問は名前をふせて赤字で明示する。毎回20問程度で3問よいのがある。講義スライドと音声もパスワードでブロックされたホームページに公開している。

<http://www.my-pharm.ac.jp/~kishiba/sub20.html>

<<http://www.my-pharm.ac.jp/%7Ekishiba/sub20.html>>

3. 14:00～14:20

テーマ：医薬品の物性予測に役立つウェブサイト

植沢 芳広(臨床薬剤学教室)

要 旨：医薬品の物理化学的性質を把握することは、薬学の教育・研究において重要である。薬物分子の構造を読み解くことによって、その性質の概略は推測できる。しかし、定量的な判断は困難な場合が多い。一方、ウェブ上には化合物の二次元構造からの物性予測を支援する種々オンラインプログラムが公開されている。そこで、これらの使用法を概説するとともに、得られた物性情報と薬物相互作用との関連に関する研究例を紹介したい。

4. 14:40~15:00

テーマ：英語のリスニング学習について-----ポッドキャストとオーディオブックの利用
林 弘美（英語・英語学研究室）

要 旨： 英語のリスニング学習における効果的な方法として、動画対応のポッドキャスト番組とオーディオブックを併用することを提案します。また、学生に対して行った、IT利用の英語学習に関するアンケートの結果についてもご報告します。

5. 15:00~15:20

テーマ：医療コミュニケーション学に関する新たな教育の試み
町田 いづみ（医療コミュニケーション学研究室）

要 旨： 医療人GPの活動の一環として、医療コミュニケーション学教育用ドラマ「薬剤師物語」を作成しました。この教育の目標は臨床家としての認識を育てることです。ドラマを見た学生さんは、医療の中での薬剤師の役割について考え、さらに、ディスカッションをすることになります。この新たな教育内容についてご紹介させていただきます

6. 15:20~15:40

テーマ：明薬サイバーキャンパス（LCMS）の新システム紹介
向日 良夫（薬学教育研究センター）

要 旨：旧システムを改善し、教員と学生のコミュニケーションを向上させる機能が実現した。教員個人での授業コンテンツなどの登録や、グループ単位の学生へのテストやレポート管理などが出来る。また、学生の利用拡大と有効利用を促進するため、学生が所有する携帯電話からも明薬サイバーキャンパスへ接続でき、データベース化した薬学用語辞典や薬学関連二択式問題などを学習できる。

7. 15:40~16:30

明薬サイバーキャンパス新システム講習